

## 会議議事録

会議名	2023年度第2回 東京工科自動車大学校三校 教育課程編成委員会	専門学校 東京工科自動車大学校 専門学校 東京工科自動車大学校世田谷校 専門学校 東京工科自動車大学校品川校
開催日時	2023年10月6日(金) 15:00 ~ 17:00	
会場	専門学校東京テクニカルカレッジ(姉妹校) B1 テラホール及び309会議室	
参加者	委員	21名 【出席者17名】 ◇1級教育課程分科会 ・佐藤 康夫(全体会議長、1級分科会議長) ・園田 幸祐 ・保田 正義 ・川越 泰明 ・在田 泰彦 ・宮谷 真樹 ・八重尾 聡洋 ・吉岡 晃(書記)  ◇2級教育課程分科会 ・澁谷 健(2級分科会議長) ・武井 和則 ・国分 秀貴 ・永野 英臣 ・清 宏一郎 ・高玉 幸雄 ・高橋 拓也 ・奥山 美都留 ・佐藤 岳人(書記)  【欠席者4名】 ・山岸 幸弘 ・松村 道隆 ・蓬田 誠 ・佐々木 真人
	事務局	2名 ・井上 真一 ・田中 健司(全体会書記)
全体会 配布資料	————— 全体会 —————	
委員長挨拶	事務局(井上部長)より、配布資料の確認がなされた ・議事次第 ・資料A・・・全体会説明資料(パワーポイント) ・資料B・・・前回議事録	
令和5年度 教育活動の進捗報告	委員長(佐藤校長)より、教育課程編成委員会の出席と日頃のサポートについてお礼を申し上げた。 また、高校生の大学全入時代となり、車に興味を持っていても大学に進学する割合が高くなっている。それらを是正するためにも情報発信が不可欠であり、高専連携の中で企業様には、色々な角度から協力頂いている事について感謝を述べられた。  引き続き委員長より、就職内定状況、履修状況、退学状況について9月末日を基準として報告がなされた。 ※()は昨年同時期 ＜就職＞ 昨年に比べ相対的に遅れ気味であることを話され、理由として中野校はレース関係の内定待ち、品川校はHDの地方受験で結果が遅れている事を挙げて説明された。 全体的には履修がままならず教育的な指導が遅れている事も起因していることを説明された。 内定率 中野校:89%(98%) 世田谷校:95%(100%) 品川校:79%(98%) ＜履修＞ 本学内においてコロナ・インフルエンザの感染者は出ているがクラスター発生までには至っていない。しかし出席率に於いて昨年比数パーセントマイナスに成っている。 出席率 中野校95.8%(97.9%) 世田谷校:95.9%(96.6%) 品川校:95.0%(95.4%)	

	<p>&lt;退学&gt;  学内の目標として5%以内としているが現時点では目標内に留めているが、年度内に於いてはギリギリの数値と見込んでいる。  退学率 中野校:3.2%(2.8%) 世田谷校:2.9%(1.3%) 品川校:3.2%(4.2%)</p> <p>「これらの履修・就職・退学の通知の落ち込みについて感じているのは、コロナ時期が4年間続き本学入学前の高校時代からコミュニケーション能力が不足している学生が多くなっている。以前に比べ活発な発言する学生が少なくなり、人との関わり方が苦手な学生が増えている、就職する前までにそれらを払拭し、しっかりと専門的な勉強を行い社会で活躍できるような人材を育成したいと考えている。」と述べられた。</p> <p>&lt;学園祭&gt;  昨年までコロナの影響で学園祭を中止していたが、今年度は実施したいと考えている。また名称についても、これまでは小山区全体で行っていた事で“テラフェスティバル”としていたが、“東京工科自動車大学校学園祭”とし、日程も短くコンパクトに実施することとした。  中野校:10/21(土) 品川校:10/22(日) 世田谷校:12月中旬 実施</p> <p>&lt;長野実習&gt;  長野実習は昨年同様、校内または近辺で代替え授業を実施</p> <p>&lt;企業連携教育&gt;  色々な企業様にご協力頂きながらコロナ禍の中においても継続して実施いただいている。協力企業様にお礼を述べるとともに、実施内容については資料を元に説明された。</p> <p>「長野教育センターの運用停止について」  39年間の長きにわたり小山区独自の研修施設として運用してきたが、建物・設備・機器類における老朽化が著しく、調査の結果改修等も困難なことから運用停止の結論となった。なお、代替の研修については学園の学科を横断し検討していく事を報告された。</p> <p>事務局より、6月に実施した議事録について確認がなされた。  すでに委員の方にはメールで配信しているため、分科会の議事内容についての継続審議事項の確認と、新議案について要所の説明がなされた。</p> <p>事務局より、1級及び2級の分科会の議長・書記の選出にあたり挙手を求めたが、立候補が無かった為、事務局より提案した議長・書記に対して委員に伺った所、拍手を持って承認された。  1級課程分科会 議長:佐藤委員長 書記:吉岡委員  2級課程分科会 議長:澁谷委員 書記:佐藤(岳)委員</p> <p>事務局より、次年度開催予定について日程が告知された。  第1回 2024年6月7日(金)  第2回 2024年10月4日(金)</p>
その他報告	
第1回議事録の確認	
分科会議長、書記の選出	
次回日程	

1級分科会  
配布資料

## &lt;配布資料&gt;

- ・令和5年6月2日実施 令和5年度 第1回1級分科会議事録資料
- ・コミュニケーションスキル・ビジネスマナー・顧客対応実務 総合コマシラバス(案)

## 協議事項

## 1. 前回の協議内容及び参照資料についての説明

(佐藤委員長)

前回からのカリキュラム内容の検討と合わせて、今後、益々高度化する自動車整備業界に対応する整備士育成の現場と、国の行う整備士資格制度変更に伴う教科書の変更、訓練時間短縮と、いう相反する現状に、教育現場としてどのように対応していくべきかを含め、今後とも皆様のお知恵をお借りしたいと挨拶を述べられた。

(園田委員)

前回、検討いただいた、3つのカリキュラム(コミュニケーションスキル・ビジネスマナー・顧客対応実務)を総合的にまとめた20コマのコマシラバスの説明がなされ、その内容について忌憚のないご意見を頂きたいと述べられた。

## 2. 資料についての質問及び意見

(佐藤委員長)

先日行われたJAMCA会議において、昨今の自動車業界内の不正問題、信用問題に対して深く考え、「コンプライアンスを意識できる学生を育てる」ということに組織全体で共通認識を図り、取り組んでいくことで一致した。

現在、協議中の内容においては、それらの部分を多く含んでおり、コンプライアンスを意識できる学生を育成する上においても、必要不可欠なカリキュラムであると思う。

(学外委員1)

全体的に大変よくまとまったコマシラダと思う。

コマテーマ8に電子メールとあるが、内容がメール書き方によるもののみであるため、PCメールに関するウィルス感染のリスクも必要ではないか。

(学外委員2)

コマテーマ16のビジネスコンプライアンスの部分に、SNSについてのマナーやルールについても組み入れるとよいのではないか。

社員のSNSに、お客様の車両ナンバーが映り込み問題になったことがある。

(園田委員)

最近ではドライブレコーダーを搭載している車両が多数あり、お客様が納車後、整備中の様子を動画で確認し、問題になるケースがあると某メディアで読んだことがあるが、実際にそのようなケースがあるのか、各委員の皆様にお聞きしたい。

(学外委員2)

実際に問題になったケースがある。納車後、お客様がご自分のドライブレコーダー内容で整備中の様子を確認し、現場スタッフの言葉づかいや態度などについてのクレームであった。  
このような事例から、常に行動が監視されている事を認識するよう、社員教育でも徹底している。

(学外委員3)

当社では、お客様にご了承をいただき、SDカードを取り出していただいている。  
個人情報保護と、ドライブレコーダーの内容保護にもつながる。  
また、社員教育の中では、SNSに関するマナーについても厳しく教育している。  
文章的なものでも仕事に関することは一切NG。

(学外委員3)

最近では、自己紹介が苦手な学生が多いのではないかと感じる。  
自分をいかに好印象に相手に知ってもらうかはとても重要なこと。  
コミュニケーションスキルの中で、自己紹介についても取り入れたらどうか。

(園田委員)

当校では夏休み前に、SNSや闇バイトなどのトラブル事例をもとに、警察の方から啓発講話を行っていただいている。

(園田委員)

自己紹介については、確かに苦手な学生が多いと感じている。  
名前と簡単なあいさつのみで、自己紹介を終える学生がほとんどなのが現状。  
自分のことを知ってもらうことは、社会に出で最も重要なことだと考える。  
是非、取り入れたい。

(学外委員4)

以前、インターンシップ実習中の昼休みに、近くのコンビニで喫煙をされており、クレームがそのコンビニから入ったことがある。(他校の学生)  
そのような経緯もあり、インターンシップ受け入れ前のオリエンテーションにおいて、コンプライアンスについての研修は十分に行っている。

(学外委員4)

ビジネスマナーについては、専門の外部講師、それとも学校の教員が行うのか。

(園田委員)

ビジネスマナーについては、専門性が重視される内容だと考える。  
専門の外部講師が行うことがベストだと考えている。

(学外委員5)

コマのテーマ7の社外文書の書き方については、簡単でよいのではないかと思います。  
コンプライアンスの関する部分になるが、私の以前の勤務先を例にとってみると、画像については非常にシビア。社内で自分がほぼ100%手掛けている仕事だとしても、会社の知的財産として社外秘となるものが多く存在している。そういったことを知ることが、自分を守る事にもつながる。

(吉岡委員)

先日、1級テキスト総合診断のカリキュラムにおいて、顧客対応についての授業を行った。カリキュラムの内容としては、入庫から整備説明までの一般的な顧客対応が例として挙げられており、その内容に沿って授業を展開している。

実際の授業内容としては、1級口述試験に対する部分の比率を大きくする必要があり、ビジネスマナーよりも、口述試験で出題される、問診及び整備説明要領に重きを置いて、授業展開を行っているのが現状。(口述試験突破を最終目標としているため。)

また、ビジネスマナー等については、我々、教員レベルでは専門講師には到底及ばない。

(佐藤委員長)

コマのテーマ5・7の読解力と社外文章の書き方については、実習的な授業となると思われるが、コマ数と内容の整合性は大丈夫なのか。

また、実習的要素がカリキュラムに含まれているが、判定方法に履修判定試験は筆記試験のみとあるが、実技試験は必要ないのか。

(園田委員)

履修判定試験は筆記試験と実技試験の両方を考えている。評価方法の記載内容を訂正いただきたい。

(吉岡委員)

先日実施された、総合診断の履修判定試験は、受付及び問診の実技試験によって行われた。ほとんどの学生が緊張していて、顧客対応とは程遠い感じであった。

(学外委員3)

実技試験を行うのであれば、ロープレ試験は必須だと考える。

コマのテーマ18・19入庫対応と、整備説明のロールプレイングについては、きわめて重要な部分。1級口述試験のような試験ではなく、より実践的なものがよいと考える。

具体的に、「お客様がまたこの人に対応してもらいたい」と思えるような対応ができるか。

実現場においては、技術・知識も重要だが、それ以上に人間としての魅力が重視される。

(佐藤委員長)

ロープレを試験として取り入れる場合、定性的評価となるため、採点の見極めが非常に難しくなると思われるが、この判定基準をどうするかが問題。

(学外委員3)

定量評価ができない試験であるため、定性評価となれば試験官の主観によって、多少の違いが出ることはやむを得ないと考える。

各メーカーで行われている社内試験の基準を参考にしているか。

各メーカーの社内試験の判定は、どのように行われているのか。

(学外委員1)

試験の判定は非常に難しいと思う。実際の大会では、お客様役1名、審査1名を配置して行っている。

(学外委員5)

緊張する学生が多かったとのことだったが、学生が苦手だからこそ行う意義は大きいと考える。

苦手意識を克服することが重要。

(学外委員4)

本試験の前に、学生同士での模擬試験を複数回行ってよいと思う。

初期の段階から最終的にどれだけ成長したかを点数により数値化し、見える化を図る。

加算方式よりも減点方式としたほうが、高得点が期待でき、自信とモチベーションアップにつながるのではないか。

(学外委員3)

各社の顧客対応を見ることがあってもよいのではないか。

競技大会の動画視聴や、御校の卒業生に実際に来てもらい披露してもらうなど。

### 3. 今後の方向性まとめ

(佐藤委員長)

今回ご提示した資料については、第1回の協議で皆様からのご意見を基に、総合コマシラバスとして再作成し、委員の皆様から高い評価をいただいた。

今回の協議で、皆様から頂戴した新たな意見を取り入れ、最終的なまとめを行いひとまず完成としたい。

次回テーマについては未定であるが、佐藤委員長より、各企業様へ日頃のご愛顧のお礼と、今後も引き続き、学校運営へのご協力をお願いが申し上げられ閉会となった。



## 2級分科会

## 協議事項

議長

遅刻欠席者の報告

議長(澁谷副校長) 挨拶 自己紹介 (前回欠席のため)

## ①3校カリキュラム変更状況報告(澁谷議長)

中野校は昨年度、世田谷校・品川校は今年度より進めている科目削減について、3校とも問題は起きておらず進行中である事を報告

## ②長野教育センター運用停止にともなうカリキュラム変更について(澁谷議長)

長野教育センターで実施していた教育内容を説明

全14時限 (90分×14コマ)

月曜日事前学習 火曜日移動→夜研修→昼実習

夜の研修についてとその有効性について説明

## 1年生:電動バイクの走行実験

講義内容説明(pptに記載)

電気自動車の種類と特徴 電動バイクの構造について

実習内容説明(pptに記載)

日常点検

走行実験の内容説明(電費レースについて)

## 2年生:大型車両実習

校内に大型車両が無く、部品(コンポーネント)のみしかない事を説明

講義内容説明

大型車と小型車の違い

ディーゼル車特有の機構(エキゾーストブレーキ、リターダなど)

実習内容説明

トラックは何が置いてあるのか説明 ギガ エルフ フォワード

部品の名前と取り付け場所の確認

Wタイヤの脱着など

4WDのタイトコーナーブレーキング現象実習説明(ジムニーを使用している)

マニュアル式フリーホイールハブの実習内容説明

この体感的なカリキュラム内容を継続していきたい旨報告

説明内容に関する質疑応答

質問無し

## ③カリキュラム共通化について(澁谷議長)

現在3校自動車整備科の共通科目の内容にバラツキが発生しており、履修管理が追いつかない状況となっていることを説明。カリキュラムリーダーが3校で最も安定している科目をSP分析によ

り抽出し、これをマスターとして共通の授業資料を使用した検証を各校で行う予定である事を報告した。マスターの確立により今後オンライン授業のコンテンツとしても使える物となる

(資料を用いて SP 分析手法の概要を説明)

今後の予定…各校の教材事情に左右されない講義授業から進める

・4 期サスペンションのメカニズム

・5 期ステアリングとアライメント

で、3 校共通授業資料にて検証実施予定

説明内容に関する質疑応答

(学外委員1)

意見: 自社の入社試験にて実施してみたい

④新しい整備士制度の移行に向けての情報交換について(澁谷議長)

1)教科書の完成時期と試験運用時期の説明

3 級の教科書が令和 5 年 10 月に発刊された。

令和 6 年度より一種養成施設での運用が開始される。令和9年度 3 月より新 3 級整備士試験に移行する(3 級総合教科書は現在手配中)

2 級は令和 6 年 9 月に教科書が完成。令和 7 年度より授業運用 令和 9 年 3 月より新しい登録試験となる

1 級は令和 8 年 3 月に教科書が完成。令和 9 年度より運用開始。令和 10 年度末より新登録試験となる。

2)9 月に発表された「自動車整備士技能検定規則の細目」より、教育内容、時間が変更になっている事について説明(別紙 2 資料抜粋。)

3 級について

旧時間 300→新時間 270 講義

旧時間 600→新時間 560 実習(※時間=50 分)

2 級についても資料の内容より説明

1 級についても減らされている事を説明

全体で時間数が減っている。インターンシップについても同じ

理由: 登録試験の実施を早め、3 月中に結果発表するため

説明内容に関する質疑応答

(学外委員2)

Q: 授業数が減る事についての懸念はないですか

A: 教科書に載っているか否かが基準となるが、必要なものは残す

意見: 学校では教科書以外でも整備につながるものに関してはやってもらいたい



(学外委員1)

Q: 整備機器取り扱いの授業内容は?

A: ドリル、やすり、測定器具、タップ、ダイス、

意見: 会社に入ってやる内容については、学校で削減されても大丈夫だと思います。

最後に各人の御意見・感想をいただきたい

- ・学生の方にはいろいろな経験の機会を与えていただければと思う
- ・試験のためのカリキュラムと経験のためのカリキュラムに分けて  
学べるようなベースを作ってもらいたい。
- ・マイクロメータやノギスは現場では使わないので、名前レベルでも大丈夫
- ・車に興味がない若い人が多いが、車が好きな子が増えると良い
- ・車好き特有の意見、話ができる人材の発掘

今後の方向性まとめ(澁谷議長)

今回の会議で共有させていただいた新制度への移行スケジュールに沿って学校もカリキュラム構築と授業準備を進めて行くため本件は継続課題とする。教科書が発行されてから急ピッチの作業となるが、委員の皆様からもご意見を頂戴しながらより良い教育内容として行きたく、今後更なるご協力をお願いし閉会とした

